

社会学部 社会学科

入学者受入れの方針(アドミッション・ポリシー)

社会学部は、社会学の専門的知識・技能を身に付け、自らの未来を切り拓く実践力を備えた人間の養成を目指して教育を行っています。そのため、本学部で学ぶ意欲があり、高等学校までの学習や経験を通じて基礎的知識を持ち、身近な問題に自ら取り組み、その成果を表現できる力を身に付けていることを重視します。入学者の受入れは、下記の方針に基づいて適正に行います。入学者の選考は、様々な個性、能力等を有する人物を受け入れることができるよう、多様な選抜方法を用意して行います。

【社会学部が求める学生像】 次の①～⑤のような学生を求めています (以下「AP①～⑤」とする)

- ① 高等学校の教育課程を幅広く修得している人
- ② 身近な問題について、知識や情報を基にして、筋道を立てて考え、その結果を説明することができる人
- ③ 社会学部で主体的に学ぶ意志がある人
- ④ 学んだ知識や経験を社会で活かしたいという意欲がある人
- ⑤ 地域における社会的活動、文化、スポーツ活動等に取り組む意欲がある人

【入学志願者に求める学習の取組】

- ・高等学校の教育課程における学習を通して、文化や社会に関する基礎知識、加えて思考力、表現力等を身に付けておく必要があります。
- ・体験型学習等を通して、物事に主体的に関わっていく態度、様々な他者と協働して何かを成し遂げる能力、自分自身の考えを発信していく力を身に付けておく必要があります。
- ・地域社会が直面する問題を多様な観点から理解し、的確かつ精密に分析する力を養うために、様々な社会現象に広く関心を持つ態度や、様々な分野の学習に取り組んでいく態度を身に付けておく必要があります。

【入学者選抜の基本方針】

1. 入学者選抜方法

(1) 総合型選抜

選抜方法:「調査書」「大学入学志望理由・自己推薦書」「面接」「小論文」

本学部のアドミッション・ポリシーを正しく理解した上で、本学部のカリキュラムに基づく学習を進めていくために必要となる「思考力」、「表現力」、「主体性」等を中心に総合的に評価するという観点から、上記の選抜方法に基づいて評価して選抜します。

入学者選抜区分:総合型選抜、社会人特別選抜、編入学選抜

(2) 学校推薦型選抜

本選抜方法:「推薦書」「調査書」「大学入学志望理由・自己推薦書」「面接(口頭試験含む)」

本学部のアドミッション・ポリシーを正しく理解した上で、本学部のカリキュラムに基づく学習を進めていくために必要となる「主体性」、加えて「表現力」、「思考力」、「知識・技能」等を、所属する高等学校の推薦内容をふまえて評価するという観点から、上記の選抜方法に基づいて総合的に評価して選抜します。

入学者選抜区分:公募・指定校学校推薦型選抜

(3) 一般選抜

選抜方法:「調査書」「大学入学志望理由・自己推薦書」「学力検査」

高等学校修了レベルの学習の達成度を重点的に評価するという観点から、上記の選抜方法に基づいて総合的に評価して選抜します。

入学者選抜区分:一般選抜、大学入学共通テスト利用選抜

2. 選抜方法の内容と評価要素

調査書

選抜方法:「総合型選抜」「学校推薦型選抜」「一般選抜」

1. 知識・技能【A P ①】

「各教科・科目等の学習の記録」「各教科の学習成績の状況」「学習成績概評」「出席の記録」

2. 思考力・判断力・表現力【A P ②】

「総合的な学習の時間の内容・評価」「特別活動の記録」「指導上参考となる諸事項」「備考」

3. 主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度【A P ③④⑤】

「総合的な学習の時間の内容・評価」「特別活動の記録」「指導上参考となる諸事項」「備考」

※「備考」については「本学アドミッション・ポリシーに関連した学習成果」の記載を求めます。

大学入学志望理由・自己推薦書

選抜方法:「総合型選抜」「学校推薦型選抜」「一般選抜」

志望理由について、これまでの学習において身に付けた知識や様々な活動を通して得た経験をもとに記述してください。社会問題など、社会で生じている様々な現象に対する関心などが高いか等を判断基準として、「主体性」、「多様性」、「協働性」を評価します。

推薦書

選抜方法:「学校推薦型選抜」

本学アドミッション・ポリシーに応じて調査書に記されたことのうち、当該志願者において際立って優れている点を2つ、あるいは3つ挙げて説明してください。アドミッション・ポリシーのいずれかに応じるものとして評価します。

「面接(口頭試験含む)」

選抜方法:「総合型選抜」「学校推薦型選抜」

自己PR、志望理由と入学後の目標、大学卒業後の進路等について質疑応答を行います。「学校推薦型選抜」では、これに加えて、現代社会、あるいは地域社会が直面している課題等について書かれた文章(新聞記事や講演録からの抜粋など)を読み上げ、その内容を手短かにまとめる課題を出します。アドミッション・ポリシーを念頭に置いた志望動機が明確か、大学入学後の目標と将来への見通しは明確か、コミュニケーション能力は高いか、そして「学校推薦型選抜」では、これらに加えて、日本語で書かれた論理的文章を著しい淀みなく、他人が聞いて理解できるように読み上げることができるか、設問に対する答えとして適切か等を判断基準として、「主体性」、「表現力」、「思考力」等を評価します。

小論文

選抜方法:「総合型選抜」「学校推薦型選抜」

現代社会、あるいは地域社会が直面している課題等について、しばしば与えられた資料などを参考にして、自分の考えを述べてください。設問に対する答えとして適切であるか、自分の考えを論理的に述べているか、日本語の文章表現として適切であるか等を判断基準として、「思考力」、「表現力」、「判断力」を評価します。

学力検査

選抜方法:「一般選抜」

一般選抜では、「国語、社会、英語、数学」のいずれか2科目の筆記試験を行います。高等学校修了レベルの学習達成度(「知識」、「技能」)、ならびに「思考力」等を評価します。

大学入学共通テスト利用選抜では、「国語、社会、英語、数学」のうち、高得点となる2科目の結果により、高等学校修了レベルの学習達成度(「知識」、「技能」)、ならびに「思考力」等を評価します。

【入学者選抜区分ごとの評価の比重】

| 入学者選抜区分 | 学力の3要素 | | |
|---------|--------|-------------|-------------|
| | 知識・技能 | 思考力・判断力・表現力 | 主体性・多様性・協働性 |
| 総合型選抜 | △ | ◎ | ◎ |
| 学校推薦型選抜 | ○ | ○ | ◎ |
| 一般選抜 | ◎ | ○ | △ |

重視する度合いが高い順に「◎」「○」「△」となります。

学力の3要素の評価の詳細については、「**出願書類等の活用**」をご覧ください。